

島根県障害者スポーツ協会 令和4年度トップアスリート発掘支援事業
パラスポーツ体験・記録測定会 開催要項

1. 目 的

本県の障がい者スポーツ活動（パラスポーツ）を更に活性化させるためには、高いレベルで競技に取り組み、多くの人の目標となるトップアスリートを本県から輩出することが重要です。この体験・記録測定会は、参加者が障がい者スポーツに取り組むきっかけを作るとともに、将来的にトップアスリートとなり得る才能の発掘につなげることを目的として開催します。

2. 主 催

公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

3. 競技運営協力

オーストリッチクラブ、島根県フライングディスク協会、島根県アーチェリー連盟

4. 期 日

令和5年3月4日（土）13：00～16：30

5. 日程・実施内容

13:00～13:30	参加者受付		
13:30～13:45	開会式・オリエンテーション		
13:45～15:00	【陸上競技】	【フライングディスク】	【アーチェリー】
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>競技の体験</p> <p>○陸上競技・フライングディスク・アーチェリーの中から参加する競技を1つ選び、競技の体験を行います。</p> <p>○参加にあたっては、（公財）日本パラスポーツ協会が定める全国障害者スポーツ大会の障がい区分を参考に、参加者の身体状況に合わせて必要な支援・体験内容等の調整を行います （例：視覚障がいのある方は音源による誘導を実施など）</p> </div>		
15:00～15:15	休 憩		
15:15～16:15	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>記録の測定</p> <p>○体験を行った競技の記録を測定します。測定方法については、「測定の概要」をご確認ください。なお、複数の測定を実施する競技では、測定方法を選んで参加することも可能です。 （例：陸上競技で50m走のみ参加するなど）</p> </div>		
16:15～16:30	閉会式・解散		

6. 会 場（競技によって会場が異なりますのでご注意ください）
《陸上競技・フライングディスク》松江市営陸上競技場（松江市上乃木 10-4-1 号）
《アーチェリー》サン・アビリティーズいずも（出雲市今市町 3-1-20）
7. 対象者（（1）～（2）をすべて満たす方）
（1）令和4年4月1日現在、9歳以上の方。
（2）島根県内に在住（通勤・通学する方を含む）し、かつ身体障がいまたは知的障がいがある方
8. 定 員
陸上競技15名・フライングディスク10名・アーチェリー5名
※定員に達した場合は先着順により参加者を決定します。
9. 参加費用
無料
10. 参加申込の方法
「参加申込書」を令和5年2月22日（水）までに下記にお送りください。（メール・FAX可）申込締切後、改めて参加の可否を通知いたします。
11. 新型コロナウイルスの感染防止対策について
開催にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため以下の対応を行います。ご理解・ご協力のほどよろしく申し上げます。
（1）「体調確認シート」に開催日（3月4日）の体温と体調をご記入いただき、受付に提出してください。なお、「体調確認シート」に記載のある症状等に該当する場合は、参加をお断りする場合があります。
（2）開催日の過去5日以内に、新型コロナウイルス陽性判定を受けた人との濃厚接触がある場合は参加を見合わせてください。
（3）参加中は、実技を行っている時以外はマスク（不織布マスクを推奨）を着用してください。また、手洗いなどの手指消毒の徹底をお願いします。
（4）会場では、可能な限り周囲の方との距離を取るようになしてください。
（5）参加後、3日以内に新型コロナウイルスの陽性が判明した場合は、速やかに事務局までご連絡ください。
12. 参加者情報の活用について
参加申込書に記入していただいた氏名等の情報及び当日の測定記録について、今後のアスリートの発掘・育成のため、下記のとおり活用しますのでご了承ください。
・本体験・記録測定会の協力団体と共有いたします。
・参加いただいた方に令和5年度島根県障がい者スポーツ大会のご案内を送付いたします。
・強化選手としての指定や活動費助成等の候補者を選ぶ際の資料とします。
13. そ の 他
（1）主催者側で傷害保険に加入します。
（2）雨天の場合は、陸上競技・フライングディスクの会場を松江市営陸上競技場内の雨天練習場及び多目的室に変更します。また、体験及び測定項目について陸上競技は50m走のみ、フライングディスクはアキュラシーのみとします。

・・・【申込先・問合せ先】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

〒690-0011 松江市東津田町 1741-3 いきいきプラザ島根内

TEL：0852-20-7770 ・FAX：0852-32-5982

e-mail：info_office@spokyo.org

《 陸上競技 》

		障がい区分 (番号)		測定項目			
				50m走	走幅跳	ソフトボール投	
肢体不自由	1	上肢	No.1	○ 車いす可	○ 立幅跳 可	○	
			No.2				
			No.3				
		下肢	No.4				○
			No.5				
			No.6				
			No.7				
			No.8				
	体幹	No.9	○	○立幅跳 可			
	2	車いす 脳原性 常用 麻痺 以外 用で	No.10	○ 車いす可・スラローム可		○	
			No.11			○ビーンバック可	
			No.12				
			No.13				
			No.14			○	
			No.15				
	3	(脳性 麻痺、 脳原性 麻痺、 脳血管 疾患、 外傷等)	No.16	○ 車いす可・スラローム可		○	
			No.17			○ビーンバック可	
			No.18				
			No.19				
			No.20			○	
			No.21			○	
			No.22			○立幅跳 可	
	4	—	No.23	○スラローム可		○ビーンバック可	
視覚障がい	No.24	○ 音源可		○			
	No.25						
聴覚・平衡機能障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい	No.26			○立幅跳 可	○		
知的障がい	No.27	○					
内部障がい	No.28						
精神障がい	No.29						

《フライングディスク》 《アーチェリー》

		障がい区分(番号)		測定項目		測定項目			
				アキュラシー	ディスタンス	インドア18mラウンド			
肢体不自由	1	上肢	No.1	手部切断 片前腕切断または、片上肢不完全 片上腕切断または、片上肢完全	○ 車いす可	○ 車いす可	○ 車いす可		
			No.2	両前腕切断または、片前腕および片上腕 切断、両上肢不完全					
			No.3	両上腕切断または、両上肢完全					
		下肢	No.4	片下腿切断または、片下肢不完全					
			No.5	片大腿切断または、片下肢完全					
			No.6	両下腿切断					
			No.7	片下腿および片大腿切断 両下肢不完全					
			No.8	両大腿切断または、両下肢完全					
		体幹	No.9	体幹					
	2	車いす 常 用 ・ 使 用 で 脳 原 性 麻 痺 以 外 で	No.10	第6頸髄まで残存			○ 車いす可	○ 車いす可	○ 車いす可
			No.11	第7頸髄まで残存					
			No.12	第8頸髄まで残存					
			No.13	下肢麻痺で座位バランスなし					
			No.14	下肢麻痺で座位バランスあり					
			No.15	その他の車いす					
	3	(脳性麻痺、脳原性麻痺、 脳血管疾患、外傷等)	No.16	四肢麻痺で車いす使用			○ 車いす可	○ 車いす可	○ 車いす可
			No.17	けて移動					
			No.18	片上下肢で車いす使用					
			No.19	上肢で車いす使用					
			No.20	その他走不能					
			No.21	上肢に不随意運動を伴う走可能					
			No.22	その他走可能					
	4	—	No.23	電動車いす常用					
視覚障がい		No.24	視力0から0.01まで	○ 車いす可	○ 車いす可	○ 車いす可			
		No.25	その他の視覚障がい						
聴覚・平衡機能障がい、音声・ 言語・そしゃく機能障がい		No.26	聴覚障がい						
知的障がい		No.27	知的障がい						
内部障がい		No.28	ぼうこう又は直腸機能障がい						
精神障がい		No.29	精神障がい						

※本区分表は令和4年度版全国障害者スポーツ大会競技規則に基づく
 ※視力は「矯正後の両眼視力」の和で判定する。
 ※視力の和を算出する際、光覚弁、手動弁は視力0、指数弁は視力0.01とする。

1. 陸上競技

(1) 50m走

タイム測定を行います。身体状況に応じて車いす（日常用・競技用）の使用・音源による誘導・「スラローム（車いす独自の競技）」を実施します。



スラローム

車いす（電動含む）を使用して旗門と呼ばれる赤白のポールで作られたコースを走り、そのタイムを競う競技です。

(2) 走幅跳

助走をつけて跳躍する走幅跳のほか、身体状況に応じて立幅跳（立った姿勢から前に跳躍する）に切り替えます。

(3) ソフトボール投

ソフトボール（3号ボール）を使用するほか、身体状況に応じて「ビーンバック投（豆の入った小さな袋を投げる）」に切り替えます。



ビーンバック

袋状なのでボールより握りやすく、保持しやすくなっています。



2. フライングディスク

(1) アクキュラシー

ディスクを投げ、ゴールとなる輪の中を通し、10投のうち何投が成功したかを測定します。ゴールまでの距離は5mか7m（選択式）となります。

(2) ディスタンス

ディスクを出来るだけ遠くに投げ、飛距離を測定します。



3. アーチェリー

弓を使って遠くの的に矢を当て、よりの的中心に多く当てることを競います。今回はインドア 18mラウンド（的までの距離を18メートル。1人30射を2回）により得点を測定します。

ただし、参加者の身体の状態と競技経験に応じて測定方法は調整します。また、当日は用具の貸出を行いますので、はじめての方でも、まずは体験のつもりで参加していただいてもOKです。

